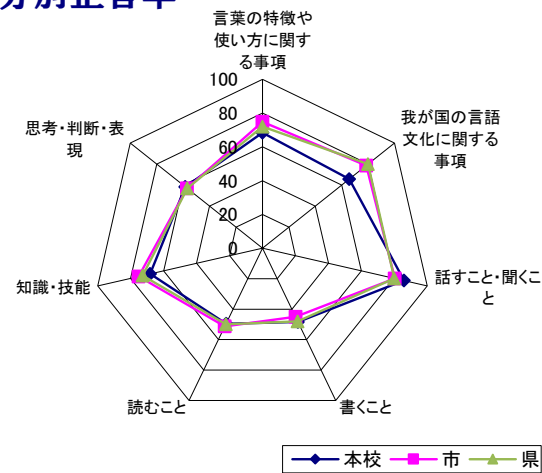


宇都宮市立東小学校 第5学年【国語】分類・区分別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	言葉の特徴や使い方にに関する事項	68.4	74.8	72.0
	我が国の言語文化に関する事項	65.6	78.6	79.9
	話すこと・聞くこと	85.9	80.4	80.0
	書くこと	48.4	45.1	48.0
	読むこと	49.6	51.3	50.0
観点	知識・技能	68.2	75.2	72.8
	思考・判断・表現	58.4	57.0	57.0



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
言葉の特徴や使い方にに関する事項	平均正答率は、県の平均を3.6ポイント下回っている。 ○文の中における修飾と被修飾の関係を捉える設問において、県の平均正答率を7.4ポイント上回っている。 ●第4学年に配当されている漢字を正しく書く問題においては、いずれの設問でも県の平均正答率を15ポイント以上下回っている。	・当該学年までに習った漢字が定着していない児童が多い。漢字の読み、書き、熟語などの練習法を伝え、定着を図る。 ・文法について触れる機会を増やし、主語や述語、修飾語など、言葉の役割に注目させながら文章を読んだり、書いたりするようにする。
我が国の言語文化に関する事項	●慣用句の意味を理解して、自分の表現に用いる設問において、県の平均を14.3ポイント下回っている。	・「ことわざ」や「慣用句」「四字熟語」に触れる機会を増やす。
話すこと・聞くこと	平均正答率は、県の平均を5.9ポイント上回っている。 ○話し手が伝えたいことの中心を捉える設問においては、県の平均を8.6ポイント上回っている。	・題意や話の流れに沿った自分の意見を言う場を積極的に設定し、自分の意見を述べたり、友達の意見の大切なことや理由を正しく聞いたりする活動を、繰り返し行う。 ・朝のスピーチなど、人前で話す機会を充実させる。
書くこと	平均正答率は、県の平均と同程度である。 ○内容の中心を明確にし、事実と自分の考えを書く設問では、県の平均を7.6ポイント上回っている。 ●指定された長さで文章を書く設問では、県の平均を4.3ポイント下回っている。	・「書くこと」の学習においては、考えたことを書いて記録する活動を取り入れ、条件を設定した短作文等の「書く活動」を積極的に取り入れる。
読むこと	平均正答率は、県の平均と同程度である。 ○物語文において、場面の様子について、叙述を基に捉える設問においては、県の平均を12.9ポイント上回っている。 ●説明文において、文章の内容をまとめた文の空欄に適する語を書き抜く設問では、県の平均を10.8ポイント下回っている。	・引き続き、読書活動の充実と推進を図る。 ・「文章を書き抜く」の意味を確認させ、一言一句間違えないで書き抜く指導を行う。